

もっと挑戦!感動とにぎわいをふくいに

昨年開催された東京オリンピックでは3名の福井県出身の選手が金メダルを獲得しました。また、フルマラソンや全国規模のスポーツ大会の開催決定、ふくい県民応援チーム「FUKUI RAYS」の活動により、県内はスポーツでますます盛り上がりつつあります。令和4年の新春を迎え、杉本知事と、福井県出身のスポーツ選手が東京オリンピックについて、そしてスポーツの魅力やにぎわいづくり、地域活性化について語り合いました。

東京オリンピック、パラリンピックの活躍

—東京オリンピック、パラリンピックを振り返っていかがですか。

知事 県内から過去最高の20名の方が出場し、フェンシングの見延選手、野球の吉田選手、栗原選手が見事、金メダルを獲得されました。他の選手もたくさん活躍していただき、本当に盛り上がったと思います。

見延 長年、オリンピックで金メダルを獲得することが大きな目標の一つだったので、金メダルをとった瞬間は本当に夢のような気持ちでした。金メダルが手元にあることで日に日に実感がわいてきました。



三谷 初戦で「君が代」が流れたときに、仲間の思いや家族、福井県で応援してくれている方々のことが思い出されてきて、このオリンピックでは結果を出すことが何よりだと思っていました。

知事 お二人の活躍には大変感動をいただきました。見ていた子どもたちの中にも、自分もスポーツに挑戦したいと思う子がたくさん出てきたのではないかと思います。

—地元福井県の応援や後押しは励みになりましたか。

三谷 福井県の皆さまの応援は常日頃から感じていて、すごくありがたいと思えました。オリンピックでも大変励みになりました。

見延 本当にもっと支えられています。コロナ禍の中、オリンピックが延期になり、自分を見失いそうな時もありましたが、福井県の皆さまから応援の言葉をかけていただき、東京オリンピックでは結果を出すぞという気持ちになり、一歩踏み出せる勇氣をもらいました。

—見延選手は県栄誉賞も受賞されましたね。

知事 東京オリンピックでの金メダル獲得は県民に大きな感動を与えてくれました。また、日頃から、福井県の子どもの指導や競技の振興に尽力していただき、福井県に大変貢献していただいています。このようなことから、今回、県栄誉賞を贈らせていただきました。

見延 常に日本代表である前に福井県代表であるということを考えています。この賞に恥じぬように、これからもっと精進していきたいです。



フェンシング選手
見延 和靖さん

越前市出身。日本のトップフェンサーとして活躍中。東京オリンピックでは、男子エペ団体キャプテンを務め、金メダルを獲得。

後進の育成

—お二人の競技を始めたきっかけ、今の活躍につながっていることについて教えてください。

三谷 越前町に引越してきたことがきっかけでホッケーを始めました。越前町にある県立ホッケー場は国際基準の人工芝があり、そこで小学校から練習できる環境は全国的にも特別です。また、素晴らしい指導者に指導してもらい、自分は恵まれながらここまでできたと思います。

見延 フェンシングを始めたのは、フェンシング強豪校に入学した高校生からです。高校時代の監督から、技術だけでなく、自分で課題を見つけ、自分で解決する思考回路を教えていただき、今でも競技に生きています。



県栄誉賞贈呈式の様子

—お二人のように世界で活躍する選手を育てるために、県はどのような取り組みを進めていますか。

知事 県では、有望選手の発掘、アスリートのUターン促進、優秀な指導者による指導などを行っています。また、越前町のホッケーのようなお家芸競技の育成を進めています。現在、新しいお家芸競技として、例



ホッケー選手
三谷 元騎さん

越前町出身。オリンピックに53年ぶりに出場した男子ホッケーの副キャプテン。福井県からホッケー選手としてオリンピック出場は初。ウェルコスタ福井所属。

えば越前市ではフェンシング、勝山市ではバドミントンなど5競技の育成を市町とともに進めています。子どものころからお家芸競技に親しみ、たくさんの人が取り組むことで福井県が強くなることにつながります。

三谷 後進の育成に積極的に協力していきたいです。

見延 自分たちが持っている技術や経験を後進が育つために伝えていきたいです。



「新たなお家芸競技」指導の様子(フェンシング)

スポーツを通じた地域活性化

—トップアスリートを養成する一方で、県はスポーツを通じたにぎわいづくり、地域活性化にどのような取り組みを進めますか。

知事 まず、例えばアスリートナイトゲームズやふくい県民応援チーム「FUKUI RAYS」の試合を見て楽しむ、盛り上がるということがあります。

その上で、自分自身もスポーツを行う、楽しむということもとても大事だと思います。

来年は日本スポーツマスターズを福井県で開催しますし、その翌年にはフルマラソン「ふくい桜マラソン」を開催します。

また、三方五湖を中心に若狭湾全体でナショナルサイク



福井県知事
杉本 達治

ルートの指定を目指しています。県民がスポーツを楽しむ、スポーツをするという取り組みも今後進めていきます。

—地域活性化の端を担っている「ふくい県民応援チーム「FUKUI RAYS」」の取り組みを教えてください。

三谷 自分が所属している「FUKUI RAYS」の「ヴェルコスタ福井」では、子どもたちを対象としたスポーツ教室の開催やチームのSNSでの福井県の魅力発信、地域の祭りや清掃活動などへの参加を行っています。

ふくい県民応援チームとなったことで、福井県の方が試合を見て応援してくれることが増えました。地域とも積極的に関わっていくことで、より注目度も上がり、スポーツへの関心も高まっていくと思います。

知事 どのチームも、良い成績を上げていただくことはもちろんですが、スポーツ教室や福井県の魅力発信ということも積極的に進めていただきたいと思います。

スポーツで暮らしにワクワクを

—スポーツは私たちの暮らしをよりワクワクするものにしていくうえで、

見延 スポーツや芸術は、人として欠かせないもの、人として人らしく生きるために大切なものだと思います。今回オリンピックを経験して、スポーツの持つエネルギーや影響力をすごく感じました。僕自身もスポーツを通して福井県、そして日本を勇気づけ元気づけていきたいです。

—県民にもっとスポーツを楽しんでもらうために、県ではどのような取り組みを進めていますか。

知事 まずは「県民スポーツ」を進めています。また、できるだけ身近に感じて楽しんでもらうために、街なかでスポーツに触れる機会をつくっていきます。例えば、街なかでちよとしたスポーツイベントを行ったり、街なかでランニングしやすいように、休憩できるランニングステーションを整備したりしています。

—お二人の今後の抱負、そして二人のように世界を目指して頑張る子どもたちにメッセージをお願いします。

見延 長年の夢だったオリンピックの金メダルを獲得し、二つ夢が叶いましたが、まだまだ自分の可能性はここにどまらないと思っています。自分の可能性を突き詰めて世界のステージで戦っていきたくです。県内の子どもたちにも、夢や希望、自分の可能性を信じて、一歩踏み出す勇氣を忘れてほしくないと思います。そのために自分がしっかりと体現化して発信していきたいと思っています。

県民へのメッセージ

—お二人の力強い言葉を聞くことができました。最後に知事の抱負をお願いします。

知事 今日はお二人からたくさんの元氣と勇氣をいただきました。お二人やふくい県民応援チーム「FUKUI RAYS」がどんどん活躍できるように、そして県民の皆さまがワクワクできるような応援をしていきたいです。

スポーツには、人の心を動かす大きな力があると思います。これからトップアスリートを数多く育てるということに加え、スポーツそのものを日頃から楽しめるような雰囲気をつくっていきます。

お二人のお話を聞いて、私も、もっともっとチャレンジしていきたいと思えました。皆さまもぜひチャレンジの年にしてください。



ホッケー教室の様子

この新春知事対談は、福井テレビホームページから視聴できます。

FBCで放送された新春知事対談はFBCホームページから視聴できます。

【テーマ】もっとワクワク!もっとおもしろいふくい!
【ゲスト】津田寛治さん(俳優) 社長さん(ONE PARK FESTIVAL音楽顧問)

抽選でプレゼントを進呈!